

あなたは友達が犯罪を犯していると知ったらどう思いますか。距離を取りたいと思いますか。多くの人はノーと答えると思います。ですが実際、多くの人がその人と距離を置いてしまいます。

そこで僕は、犯罪を犯してしまった人でも、普通の人と区別せず、公平に接するために、犯罪を犯してしまっても人間であることには変わらないということと呼びかけようと思います。一度犯罪を犯した人も、自分たちと同じ人間であることには変わりありません。その意識を持つと、いいのではないのでしょうか。たとえ友達が犯罪を犯してしまっていたとしても、更生をし、新しい人生を始めようとしているなら、応援してあげればいいと思います。その協力は、犯罪や非行をなくし、社会を明るくすることの第一歩になるかもしれません。

非行に走ってしまったり、犯罪を犯してしまった人の立ち直りについて、僕は他の人と接し方を変えるのではなく、同じ人間として接していく、分けへだてなく接していくことが大事だと思いました。

これまで、犯罪、非行のない社会に向けてのことを書いてきました。変な人とはあまり関わらない、犯罪を絶対に起こさないという強い意志を持つ、そして他の人と接し方を変えないことです。ここまでのものにもうひとつプラスしたいと思います。「善い行い」を心がけてみてはどうでしょうか。マイナスを0に変えるのではなく、プラスに変えてみれば、犯罪や非行はさらに減っていくと僕は思います。

犯罪や非行のない明るい社会を築くために、僕自身が社会をプラスにできるような行動を心がけて生活を見つめ直していきます

